

山田みつあき 後援会ニュース

後援会事務所 676-0074 高砂市梅井2丁目7番23号

TEL : 079-446-0837

Email : m-yamada-takasagogikai5@i.softbank.jp

[ご連絡]令和5年10月1日付 メールアドレスが変更となりました。



令和7年9月定例市議会が開催されました。

議員活動・議会活動へのご支援に感謝

平素より、私の議員活動ならびに議会活動に対し、温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和7年度高砂市一般会計 第5回補正予算が可決

- 補正後の総額: 442.3億円
- 追加補正額: 9.9億円
- 地方債残高の見込み: 417.5億円
- 財政調整基金残高の見込み: 67.7億円

高砂市議会 2025年9月 議長・副議長が決定

- 議長(第74代) : 川端 宏明 議員 (新政会)
- 副議長 : 森 秀樹 議員 (公明党)

9/9(火)-9/26(金)の18日間にわたる会期を無事に終え、すべての提案議案が可決され、閉会しました。

2025年度 私の委員会所管

- 建設環境経済常任委員会 (委員長)
- 議会運営委員会 (副委員長)
- 決算特別委員会 (委員)
- 代表者会議 (会派代表)

今後1年間、これらの役職を通じて、市政の発展に尽力してまいります。

高砂市議会がハラスメント防止条例と政治倫理条例の一部改正を定めました。

先進地へ視察調査に出向きました

大阪府池田市(5/16)

AIスマートコーチを利用した部活動について

大阪府池田市では、教員の働き方改革と子どもの運動能力向上を目的に、AIスマートコーチを導入。教員の負担軽減、児童生徒の主体的な活動、運動量確保といった成果を確認。地域団体との連携も進めている。



徳島県鳴門市(7/25)



鳴門に住めば応援がすごいパッケージ

鳴門市は、子育て世代の定住促進のため「なるとまるごと子育て応援パッケージ」を実施。市の課題をアンケートで把握し、SNS等を活用して各ライフステージに応じた支援策を分かりやすく発信。市の取り組みの認知度向上と若者の定住につなげている。

香川県東かがわ市(7/24)

温水プール整備

東かがわ市では老朽化した既存プールに代わり旧小学校跡地に「温水プール」を建設。DBO方式で民間事業者が設計・建設・運営を行い学校水泳授業を民間委託するモデルとして教職員の負担軽減と市民の健康増進に貢献している。



9月定例会で一般質問を行いました

①移住定住・若者・子育て支援体制に関する質疑応答

Q: 支援事業を「パッケージ化」し、「見える化」とSNS広報を強化すべきでは?

A: 「見える化」は有用。移住定住ガイドブック作成やHPリニューアルを実施済み。SNSを含め、他市の事例研究を続け、広報を継続的に改善します。

Q: 市民ニーズを把握し、施策に反映させる仕組みを構築すべきでは?

A: 非常に重要。市民満足度調査(定量分析)とタウンミーティング(直接意見)を継続実施中。子ども議会の声から体育館エアコン導入を実現。今後も施策活用の仕組みを研究・検討します。

Q: 移住・子育て支援策の所得制限は撤廃・緩和すべきでは?

A: 個別判断。結婚新生活支援は緩和効果が薄いとの認識。保育料は応能負担の原則に基づき所得制限が公平性を実現。ただし、市独自の軽減策で負担を減らしています。

Q: 若者の転出超過対策で、部局横断的な体制と市長のリーダーシップを強化すべきでは?

A: 体制は不可欠。行政経営推進本部(市長トップ)で組織横断的検討中。今後は庁内横断的な施策整理や、外部専門家と共に情報発信を政策部主導で強化するよう指示しました。

Q: 「ブライダルのまち」を活かし、「未来型ブライダル都市高砂」として官民一体でプランディングとDX推進すべきでは?

A: 興味深い提案。外部専門家派遣を受け、戦略的広報を検討指示しました。「選ばれる高砂市」を目指し、外部知見を借りてプランディングを検討します。デジタル技術も活用し、若々しい情報発信の仕組みづくりに注力します。

感謝と笑顔で幕を閉じた 高砂市民プール

高砂市民プールは8月31日に約40年の歴史に幕を閉じました。

最終日は多くの人で賑わい、特別企画「スライダーの上から感謝を叫べ!」では、参加者が感謝のメッセージを叫び、温かい拍手の中で閉園しました。



②全国大会等出場選手への支援体制に関する質疑応答

Q: 学校の部活動とクラブチーム等で支援に差があるのは公平性に欠けるのでは?

A: 差は認識しています。部活動には交通費・宿泊費の支給がありますが、クラブチーム等にはありません。今後は、クラブチーム等の選手にも表敬訪問に来ていただけるよう周知を強化します。

Q: 支援の公的制度を構築し、透明性を確保すべきでは?

A: 現状、クラブチーム等への支援は市長交際費(餞別金)です。支援が届いていないケースがあるため、表敬訪問の周知を強化し、公平性の改善を図ります。

Q: 出場選手を漏れなく把握するため、部署間の連携は取れているのか?

A: 連携は行えていませんでした。総務部(表敬訪問)と健康こども部(スポーツ賞)は別目的のためです。今後は、スポーツ賞の対象者把握のため、総務部との情報共有を図ってまいります。



高砂市民病院の 将来的な経営形態

高砂市民病院は、新病院建設に伴う「新病院建設費も含めた繰出金」の結果、開院予定年度以降の10年間の平均基準外繰出金が14.2億円となり、目標とする4億円を維持できないため、経営形態の見直しが必要となりました。

新しい経営形態の結論と理由

現状の「公設公営」から、「指定管理者制度」へ移行する方向で進められます。

目標: 高砂市民病院が抱える課題を解決し、将来に向けて引き続き公立病院として存続できる経営形態に変更すること。